第６学年　外国語活動学習指導案

日　時　　平成３０年１０月３１日（水）

学習者　 十和田市立北園小学校６年１組

男子１６名　女子１８名　計３４名

授業者　　ＨＲＴ　木津　明子

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　 　　　 ＡＬＴ　バトラー　エヴァン

１　単元名　　We Can! ２　 Unit８ What do you want to be?　　将来の夢・職業

　　　　　　　Hi, friends! ２　Lesson８　What do you want to be? 夢宣言をしよう

２　単元の目標

・将来就きたい職業やしたいこと，その理由などについて積極的に紹介しようとする。

（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

・将来の夢についての簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しむ。　　（外国語への慣れ親しみ）

・職業を表す英語表現の規則性に気付く。　　　　　　　　　　（言語や文化に対する気付き）

　【新学習指導要領】

・将来就きたい職業について，聞いたり言ったりすることができる。　　　　（知識及び技能）

・将来就きたい職業やしたいこと，その理由などを伝え合う。また，将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり，例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。　　　　　　　　　　　　　　　（思考力・判断力・表現力等）

・他者に配慮しながら，将来の夢について伝え合おうとする。　（学びに向かう力，人間性等）

３　評価規準

【コ】将来就きたい職業やしたいこと，その理由などについて積極的に紹介している。

【慣】将来の夢についての簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しんでいる。

【気】職業を表す英語表現の規則性に気付いている。

４　単元について

（１）教材について

　　　本単元は，将来の夢が題材である。「話すこと（やり取り）」の言語活動で，“I want to be a ～.”や“I can ～.（I’m good at ～.）”を使って自身の夢や得意なことを表現することをねらいとしている。高学年の児童は自分のよさや自慢できることをはっきりと口に出すことを苦手としているが，Let’s Watch and Thinkで視聴した外国の子供たちが自身の夢を語る様子を参考にすることで，自分のよさを自覚しそのことをはっきりと表現させ自己肯定感を高めさせることができる。「話すこと（発表）」では，十分に音声で慣れ親しんだ語彙や基本的な表現を使って自身の夢のスピーチに取り組む。本単元は自分自身や友達のよさだけでなく，働くことの喜びや目的にも気付かせ，キャリア教育の一環として活用するのに有効な教材である。

６年－１

　　＜本単元の言語材料＞

|  |
| --- |
| 【主な表現】  What do you want to be?  I want to be a ～. I like ～. I can ～. I’m good at ～.  That’s good. Good luck. |
| 【主な語彙】  be, luck, future, artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, dentist, farmer, figure skater,  flight attendant, pianist, pilot, singer, train conductor, zookeeper |

（２）児童について

　　　◇実態調査と結果（調査日：平成３０年７月１３日，調査対象６年１組３２名）

1. 外国語活動の授業や英語について思っていること，していることを教えてください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | そう思う | | ややそう思う | | あまり思わない | | そう思わない | |
| ア | 外国語活動の授業は好きだ。 | 31人 | 97％ | 1人 | 3% | 0人 | 0% | 0人 | 0% |
| イ | 外国語活動の授業では，自分から進んで友達や先生と英語でコミュニケーションをとろうとしている。 | 28人 | 88% | 3人 | 9% | 1人 | 3% | 0人 | 0% |
| ウ | 分からないことがあっても，ジェスチャーを使うなどの工夫をしたり，他の人に聞いたりして理解しようとしている。 | 30人 | 94% | 1人 | 3% | 1人 | 3% | 0人 | 0% |
| エ | もっと英語が使えるようになりたい。 | 31人 | 97% | 1人 | 3% | 0人 | 0% | 0人 | 0% |
| オ | 外国語活動の授業は分かりやすい。 | 28人 | 88% | 3人 | 9% | 1人 | 3% | 0人 | 0% |

1. 外国語活動の授業をして，できるようになったことや変化があれば書いてください。

６年－２

|  |  |
| --- | --- |
| スピーチや英語でのあいさつができるようになった。 | 25人 |
| 英語（いろいろな単語や数字の言い方など）を言えるようになった。 | 16人 |
| 英語を（少しずつ）書けるようになった。 | 9人 |
| 聞き取れるようになった。 | 8人 |
| 発音がよくなった。 | 7人 |
| 読めるようになった。 | 5人 |
| 家で英語を使うようになった。 | 4人 |
| ジェスチャーをするようになった。 | 3人 |
| 積極的になった。 | 3人 |
| 他の人と仲良くなった。 | 1人 |
| 分からない時に質問できるようになった。 | 1人 |
| リアクションするようになった。 | 1人 |

1. 外国語活動の好きな所や楽しい所を教えてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チャンツや歌 | 9人 | ゲーム | 9人 |
| クイズ | 18人 | インタビュー | 21人 |
| スピーチ | 11人 | 新しいことを覚えること | 3人 |
| デジタル教材を見ること | 2人 | ＡＬＴと担任の英会話を聞くこと | 2人 |
| 書くこと | 2人 | 読むこと | 1人 |

　　　◇考察

　以上の結果から，児童は外国語活動を楽しみ，意欲的に学習に取り組んでいると言える。昨年１年間でたくさんの英語に触れたことにより，抵抗なく外国語活動に取り組んでいる。今年度は毎週水曜日がEnglish dayになり，全校児童が英語であいさつをする活動に取り組んでいる。６年１組では朝の会での健康観察や授業の最初のあいさつなどを英語で行っているが，どの児童も恥ずかしがることなく英語を話している。

外国語活動の授業ではＨＲＴとＡＬＴの英会話や英語での指示を理解しようと真剣に聞いている。今まで学習した語彙や表現を想起して，新しい語句や表現の意味を推測して進んで発表しようとする児童が多い。どうしても分からないときは積極的に“Hint, please.”“Once more, please. ”と説明を求める場面も多く見られる。このように，児童は英語を聞き取れるようになりたい，話せるようになりたい，英語で友達とやり取りを楽しみたいという意欲的な態度で授業に向かっている。

（３）指導について

　本単元のゴールは，総合的な学習の時間と関連した「夢に向かって」という活動の一つとして，“I want to be a ～.”“ I like ～.”“ I can ～.”“ I’m good at ～.”という表現を使って自分の将来の夢についてスピーチすることである。児童の興味・関心を高めるために，単元の最初にＨＲＴの小学校６年生の時の夢と現在の夢について英語でスピーチし児童に内容を推測させることで「将来の夢について学習するのだ。」と認識させる。キャリアノートに書いた自身の夢を想起させることにより，たくさんの職業があることに気付かせたい。いくつかの職業の英語表現を学習した後，自分自身の就きたい職業の英語表現を習得させる。デジタル教材を視聴することにより，外国の子供たちも自分と同じように夢を持っていることに気付かせるだけでなく，できることや得意なことを堂々と話している様子を見て，スピーチへの意欲を喚起させたい。ＨＲＴやＡＬＴ，デジタル教材によるインプットと，ゲームやアクティビティによるアウトプットのバランスを保ちながら活動を進めていく。またキャリア教育と関連付けて活動に取り組ませ，小学校最後の参観日では総合的な学習の時間のまとめとして，将来の夢について保護者の前で英語と日本語でスピーチするというゴールを示し，必然性をもって活動できるよう支援する。

６年－３

５　仮説との関わり

（研究仮説）

仮説１

「聞く」「話す」必然性のある場面を設定し，「誰に」「何のために」伝えるかを明確にすれば，積極的にコミュニケーションを図ろうとするであろう。

仮説２

　児童自らが選択した表現を使って，友達や先生，ＡＬＴに伝える場を工夫すれば，英語に慣れ親しむであろう。

　（１）仮説にかかわる手立て

　　　①仮説１に関して

　　　　　「夢に向かって」と題して，将来就きたい職業やその理由などをスピーチする場面を単元の最後に設定する。

　　　　・「聞く」「話す」必然性のある場面を設定：将来の夢についてスピーチする。

　　 　 ・「誰に」「何のために」伝えるか：友達や先生に将来就きたい職業やその理由を紹介し合ながら，お互いをよく知るために伝え合う。

②仮説２に関して

　　　　　たくさんの語句や基本的な表現に繰り返し触れる活動を行う。

　　　　・伝える場を工夫：児童同士のペア活動やグループ活動，児童対ＡＬＴ，児童対ＨＲＴという活動形態でやり取りを繰り返す言語活動の場をたくさん設定する。

　（２）単元全体にかかわる手立て

　　　・児童が自分自身の思いを堂々と伝えることができるよう，既習の語句や表現が書かれたヒントシートを準備する。

　　　・分からないときはＨＲＴやＡＬＴに尋ねるよう伝える。

　　　・複雑な表現は日本語で話してもよいことを伝える。

６　指導計画（全４時間）

６年－４

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○目標　　【　】●主な活動　　＜　＞言語材料 | 主な評価規準《評価方法》 |
| １ | ○ＨＲＴや世界の子供たちの夢について聞き，自分の将来の夢について想起する。学習の見通しをもつ。様々な職業の言い方を知る。  ●Small Talk  ・ＨＲＴの６年生の時と今の夢を聞き，学習の見通しをもつ。  「夢に向かって～１０年後の自分～」mission①  様々な職業の言い方を知ろう。  《HF２-L８》【Let’s Listen】p.38「だれの夢？」  ・絵カードを見ながら，職業の言い方を知り，規則性を見つける。  ●Let’s Play「キーワードゲーム」  ・指導者が指示した単語を言ったら消しゴムを取る。  《HF２-L８》【Let’s Chant】p.40 What do you want to be?  《WC２-U８》【Let’s Read and Write2】p.64　I want to be a pilot.  ＜I want to be a ～.〔職業〕teacher, singer, farmer, dentist, florist,  cook, vet・・・・・＞ | 【気】職業の言い方の規則  性に気付いている。  《行動観察・  振り返りカード》 |
| ２ | ○世界の同年代の子供が様々な夢をもっていることに気付き，積極的に将来の夢について尋ねたり理由を付けて答えたりする。  ●Small Talk  ・ＨＲＴとＡＬＴの将来の夢についてのやり取りを聞き，学習の見通しをもつ。  《WC２-U８》【Let’s Watch and Think２】p.60  ・ＨＲＴや世界の子供たちのスピーチを聞いて，世界の子供たちも自分と同じように将来の夢を持っていることに気付く。  「夢に向かって～１０年後の自分～」mission②  将来の夢についてインタビューし合おう。  《HF２-L８》【Let’s Chant】p.40 What do you want to be?  ・尋ねる表現と理由を付けて答える表現に慣れる。  ●Let’s Play「チェーンゲーム」  ・“What do you want to be?”“I want to be a ～.　I like ～.”のやり取りを繰り返す。  ●Activity「インタビューしよう」  ・インタビューした内容をワークシートに記入する。  《WC２-U８》【Let’s Read and Write2】p.64　I like ～.  ＜What do you want to be? I want to be a ～.　I like ～.  〔自分の就きたい職業〕＞ | 【気】世界の同年代の子供  たちも夢を持っていること  に気付いている。  《行動観察・テキスト・  振り返りカード》  【慣】積極的に将来の夢に  ついて尋ねたり理由を付け  て答えたりしている。  《行動観察・ワークシート・  振り返りカード》 |
| **３**  **本**  **時** | **○自分の将来就きたい職業について理由を言う表現に慣れ親しむ。**  **●Small Talk**  **・ＨＲＴとＡＬＴのやり取りを聞き，学習の見通しをもつ。**  **《WC２-U８》【Let’s Watch and Think３】p.60**  **「夢に向かって～１０年後の自分～」mission③**  **自分ってすごい！自分のよさをアピールしよう。**  **●Activity１「自分のよさ・自慢大発見」I can ～.　（I’m good at ～.）**  **・できることや得意なことをたくさんアピールする。**  **●《WC２-U８》【Let’s Read and Write2】p.64　“I can ～.”**  **●Activity２「友達に自分のよさをアピールしよう」**  **・グループの友達に自分のよさをアピールする。**  **・聞いている人はReactionをし，感想を述べる。**  **●Let’s Play「Who is he（she）?～誰の夢？」クイズ**  ６年－５  **・選ばれた原稿を指導者が読んで誰のことか当てる。**  **＜I want to be a ～.　I like ～.　I can ～.　（I’m good at ～.）**  **He（She）wants to be a ～. He（She）likes ～. He（She）can ～.**  **math, science, play, soccer, dance, cooking, swimming ・・・＞** | **【慣】就きたい職業につい**  **て，理由を言う表現を言っ**  **ている。**  **《行動観察・ワークシート・振り返りカード》** |
| ４ | ○将来の夢についてのポスターの英文の部分を書き，堂々と夢宣言をする。  ●Small Talk  ・ＨＲＴのスピーチを聞き，学習の見通しをもつ。  「夢に向かって～１０年後の自分～」mission④  夢宣言をしよう。  ≪HF２-L8≫【Activity】p.40  ・３人のスピーチを聞き，夢宣言の参考にする。  ●Activity１  ・夢ポスターを完成させる。  ●Activity２  ・グループで夢宣言の練習をする。  ・みんなの前で夢宣言スピーチをする。  ＜I want to be a ～.　I like ～.　I can ～.　（I’m good at ～.）math science play soccer dance cooking swimming ・・・＞ | 【コ】相手意識をもって自  分の夢を紹介している。  《行動観察・夢ポスター・　振り返りカード》 |

７　本時の指導

　（１）本時の目標

　　　I canゲームやグループでのスピーチを通して，自分の将来就きたい職業について理由を言う表現に慣れ親しむ。

　（２）仮説との関わり

　　　　①「聞く」「話す」必然性のある場面設定

　　　　　・児童が真剣に必要感をもって聞いたり話したりするよう，Small Talkで本時のゴールを示したり，グループでのスピーチでお互いに感想を述べ合ったり，クイズ形式で聞いたりする活動を取り入れる。

②伝える場の工夫

　　　　　・夢やその理由の英語表現に慣れ親しむために，児童とＡＬＴ，児童とＨＲＴ，児童と児童のように対話の相手を変えることにより繰り返し話したり聞いたりする活動を行う。

６年－６

　（３）展開（３／４）

６年－７

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 児童の活動 | 指導者の活動 | | ○指導上の留意点  【　】評価 |
| ＨＲＴ | ＡＬＴ |
| 導  入  ５  分 | １ Greetings  “Let’s study English.  “Hello, エヴァン先生 and 木津先生.”  “I’m happy.”  “It’s sunny.”  “It’s Wednesday.”  “It’s October 31st.”  ２ Review  ○前時の表現を確認する。  “I want to be a ～.”  “I like ～.” |  | “Hello, everyone.”  “How are you?”  “How is the weather today?”  “What day is it today?”  “What is the date today?” | ○相手の目を見ながらはっきりとした声で挨拶をし，意欲的に学習しようとする雰囲気を高める。  ○児童に前時までの表現を想起させる |
| 展開  35  分  まとめ  ５  分 | ３ Small Talk  ４Let’s Watch and Think３  （WC2-U8 p.60）  ５ Today’s goal  「夢に向かって～１０年後の自分～」mission③  自分ってすごい！できることをアピールしよう。  ６ Activity①  「I canゲーム」  ○自分のできることをたくさん見つけて伝える。  ・ワードリストの中から自分のできることを複数見つけて○をつける。  ・“I can ～.”の表現を使って，自分と同じことができる友達を見つける。  ７ Let’s Read and Write2  ○ワークシートの続きに将来の夢につながる自分のできることを記入する。  ８ Activity②  「スピーチしよう」  ○グループの友達に将来の夢を理由を付けてスピーチする。  ・３～４人グループで行う。  ・スピーチを聞いたらReactionし，感想を述べる。  ９ Let’s Play  ○「Who is he（she）?誰の夢？」クイズをする。  ・ＨＲＴが読んだスピーチ原稿が誰のものか当てる。  ・誰のスピーチかわかったら，感想を述べる。  10 Summing up &  Greeting  ○今日の活動を振り返り，カードに記入する。  “Thank you, エヴァン先生 and 木津先生.”  “See you.” | HRT: I want to be a musician.  What do you want to be?  Ss : I want to be a dancer.  HRT: What do you want to be, エヴァン先生?  ALT: I want to be a ～.  I like ～.　I can ～.  　　 So, I want to be a ～.  What do you want to be?  HRT: I want to be a musician.  I like music. I can play the cello.  So, I want to be a musician.  ○大事な表現を確認する。  ○英語表現が分からない児童に教える。  ○書き方が分からない児童に教える。  デモンストレーション  HRT: Hello. I’m Akiko.  ALT: Hello, Akiko. What do you want to be?  HRT: I want to be a musician.  I like music very much.  I can play the cello very well.  So, I want to be a musician.  ALT: Good dream.  HRT: Thank you.  ６年－８  ○無作為に選んだスピーチ原稿を読む。  ・He wants to be a soccer player.  He likes PE. He can play soccer very well.  Who is he?  ・She wants to be a dancer.  She likes sports. She can dance very well.  Who is she?  ○机間巡視しながら評価で迷っている児童にがんばったことを伝える。  “That’s all for today.”  “See you.” | ○児童がデジタル教材で聞き取れない場合はゆっくり読む。  ○英語の表現が分からない児童に教える。  ○書き方が分からない児童に教える。  ○ＨＲＴが読んだスピーチの大事な部分を繰り返す。  ○机間巡視しながら本時のがんばりを伝える。  “Thank you.”  “Good job.”  “See you next time.” | ○ＨＲＴもＡＬＴも小学６年生という設定であることを伝える。  ○児童が真剣に必要感をもって聞いたり話したりするよう，Small Talkで本時のゴールを示す。  〔仮説１〕  ○世界の同年代の子供たちが堂々と夢とその理由を話していることに気付かせる。  ○ゲームの前に児童対ＨＲＴで練習し，自信をもって活動に取り組ませる。  〔仮説２〕  ○クラス全体で交流させる。  ○友達のスピーチを聞いた後にReactionしたり感想を述べさせたりする。  〔仮説１〕  【慣】就きたい職業について理由を付けて言う表現を言っている。  《行動観察・ワークシート・振り返りカード》  ○誰のスピーチかを当てるという必然性をもって聞かせる。  〔仮説１〕  ○がんばったことやできるようになったこと，うれしかったことなどを発表させ，達成感を共有させる。 |

６年－９